

Bluetooth ミニフォン

GH-BHMPA シリーズ 取扱説明書
Ver.1.0

安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください。

△警告 下記事項を守らないと、死亡したり、重傷を負うおそれがあります

- 大音量で長時間連続で使用するなど聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないなど危険な状況下では使用しないでください。
- 異常を感じる場合は使用しないでください。
- 発煙や発熱、異臭、異音が発生したら、すぐに使用をやめてください。
- 充電しながら使用しないでください。
- 取扱説明書にある充電時間を超えても充電が完了しない場合、そのまま充電を続けると、内蔵バッテリが破損する可能性がありますので、充電をやめてください。
- ひんだり、のつたり、投げたり、落としたりしないでください。
- 落雷のおそれがある場合は触れないでください。
- プラグを抜き挿しする際はコードを引っぱらず、プラグを持ってください。
- 異物や液体を入れたり、付着させないでください。
- 高温多湿や直射日光を避けさせてください。
- 分解や改造をしていないでください。
- 子供や乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。
- 医療機器や人命に関わるシステムの近くで使用しないでください。
- ベースメーカーなど、医療機器を使用している場合は事前に医師に相談してください。

△注意 下記事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります

- 水分や静電気を帯びた手で触れないでください。
- 定期的にホコリやゴミを取り除いてください。
- お手入れの際はプラグを抜いてください。
- 汚れは、やわらかい布でふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- お手入れの際、ベンジンやシンナーなど溶剤、強力な洗剤などは使用しないでください。
- 目的外の使用はしないでください。

電波に関する注意

- 本製品では、2.4GHz帯域の電波を使用しています。(2.4GHz帯域では、無線LANなどの無線機器、電子レンジなどの産業機器や科学機器、医療機器のほか、工場の生産ラインで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などの無線局が運用されています。)
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。
- 本製品を使用する前に、近くで2.4GHz帯域の電波を使用した無線局が運用されていないことを確認してください。
- 磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近くでは、本製品を使用しないでください。
- 万が一、本製品とほかの無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに、使用場所を変更するか、使用をやめてください。
- 電波干渉が発生した場合など、お困りの際はテクニカルサポートへお問い合わせください。

制限事項

- 本製品の通信距離は最大10mですが、磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せず、接続が途切れたりする場合があります。
- 長時間の使用により、製品が暖かくなる場合があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する場合があります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作できない場合があります。
- 内蔵バッテリは繰り返しの充放電により消耗しますが、交換できません。

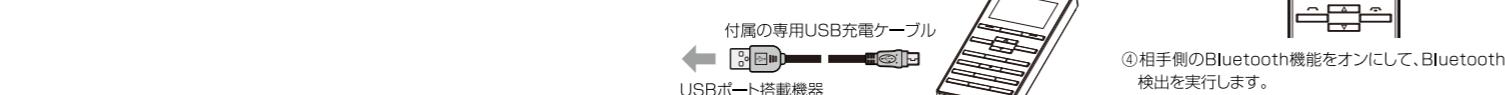
同梱品の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっていることを確認してください。

- 本体
- 専用USB充電ケーブル
- 取扱説明書/6ヶ月保証書(本紙)

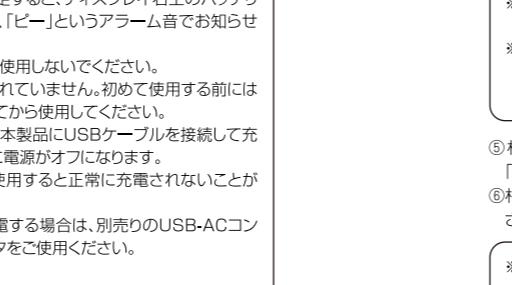
充電方法

- ①電源がオフになっていることを確認してください。
- ②付属の専用USB充電ケーブルを充電ポートに取り付け、パソコンなどUSBポートを搭載する機器に接続してください。
- ③充電中はディスプレイ右上のバッテリアイコンが、点灯(→)します。
- ④バッテリアイコンが全灯()すると充電完了です。USBケーブルを抜いてください。



右上につづく

各部名称



USB-Aコネクタ
変換アダプタ
GH-ACC-USBシリーズ(別売り)
GH-AC-USA(別売り)

起動方法

電源オン

ディスプレイに以下の画面が表示されるまで、[電源ボタン] を長押し(約2秒)します。



電源オフ

ディスプレイの表示が消えるまで、[電源ボタン] を長押し(約2秒)します。



ペアリングとは？

Bluetooth機器では、あらかじめ接続する機器を登録する必要があります。この登録をペアリングといいます。ペアリングすると、機器の電源をオフにしても設定が保持され、再度電源をオンにすると、最後に接続されていた機器と自動的に接続されます。

ペアリング方法

- ①相手側のBluetooth機器が1m以内にあることを確認してください。
- ②電源がオフになっているか確認してください。
- ③[ファンクション1ボタン] を押すと、以下の画面が表示され接続モードになります。



- ④ディスプレイ右上のバッテリアイコンが、点灯(→)します。
- ⑤バッテリアイコンが全灯()すると充電完了です。USBケーブルを抜いてください。
- ⑥相手側のBluetooth機能をオンにして、Bluetooth機器の検出を実行します。

右上につづく

パソコンと接続する

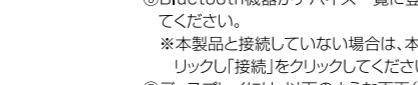
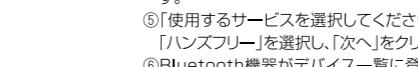
*バッテリ残量が不足すると、ディスプレイ右上のバッテリアイコンが点滅し、「ビー」というアラーム音でお知らせします。
※充電中は本製品を使用しないでください。
※ご購入時は充電されていません。初めて使用する前には2時間以上充電してから使用してください。
※電源オンの状態で本製品にUSBケーブルを接続して充電すると、強制的に電源がオフになります。
※USBハブなどを使用すると正常に充電されないことがあります。

- ⑤相手側Bluetooth機器に検出されたリストの中から「GH-BHMPA_series」を選択します。
- ⑥相手側にBluetoothパスキー(パスワード)入力画面が表示された場合、「0000」を入力します。

*Bluetooth機器によってはBluetoothパスキーが表示されずに自動的に接続するものがあります。その場合は手順⑥に進んでください。
※相手側Bluetooth機器のパスワード画面が表示された場合は、設定しているパスワードを入力してください。

- ⑦相手側Bluetooth機器の画面に接続プロファイルの選択が表示されたときは、「HFP(ハンズフリープロファイル)」を選択します。
- ⑧相手側Bluetooth機器の画面に「接続完了」と表示されたことを確認します。

*ディスプレイには、以下の画面(トップ画面)が表示されます。接続(ペアリング)した機器のデバイス名(例: GREEN-01B)が表示されていることを確認してください。



*エラーなどが表示されて接続できない場合は、手順①からやり直してください。
※本製品が相手側Bluetooth機器リストに検出されない場合は、再度検索してください。

*エラーなどが表示されて接続できない場合は、手順①からやり直してください。
※本製品が相手側Bluetooth機器リストに接続されない場合は、再度接続してください。

*HSP(Hands-Free Profile)
Bluetooth搭載ヘッドセットでハンズフリー通話をするためのプロファイルです。モノラル音声の受信や、マイクで双方向通信ができます。

*HFP(Hands-Free Profile)
Bluetooth機器では、それぞれの機器の役割ごとに定められた通信規約があり、この通信規約をプロファイルといいます。同じプロファイルを持つ機器間のみが通信可能となり、その役割を果たします。本製品が対応するプロファイルは以下の通りです。

HSP(Headset Profile)
Bluetooth搭載ヘッドセットと通信するためのプロファイルです。モノラル音声の受信や、マイクで双方向通信ができます。

A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
ヘッドフォン向けのプロファイルです。ステレオ音声の受信ができます。

AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
AV機器のリモコン操作をするためのプロファイルです。

再度接続する場合

*Bluetooth機能(Bluetooth2.1+EDR無線機能)搭載パソコンを使って、本製品に接続する方法について説明します。
※詳しく述べ、パソコンやその他の機器に付属している取扱説明書を参照してください。

- ⑤相手側Bluetooth機器に検出されたリストの中から「GH-BHMPA_series」を選択します。
- ⑥相手側にBluetoothパスキー(パスワード)入力画面が表示された場合、「0000」を入力します。

*Bluetooth機器によってはBluetoothパスキーが表示されずに自動的に接続するものがあります。その場合は手順⑥に進んでください。
※相手側Bluetooth機器のパスワード画面が表示された場合は、設定しているパスワードを入力してください。

- ⑦相手側Bluetooth機器の画面に接続プロファイルの選択が表示されたときは、「HFP(ハンズフリープロファイル)」を選択します。
- ⑧相手側Bluetooth機器の画面に「接続完了」と表示されたことを確認します。

*ディスプレイには、以下の画面(トップ画面)が表示されます。接続(ペアリング)した機器のデバイス名(例: GREEN-01B)が表示されていることを確認してください。



*エラーなどが表示されて接続できない場合は、手順①からやり直してください。
※本製品が相手側Bluetooth機器リストに接続されない場合は、再度接続してください。

*エラーなどが表示されて接続できない場合は、手順①からやり直してください。
※電話を切ると、着信ボタンを押すか、[電源ボタン] を押します。

*電話を受ける
①電話を着信すると着信メロディが鳴り、ディスプレイに発信者番号が表示されます。
②[ファンクション1ボタン] を押すか、[発着信ボタン] を押します。

*電話を切るときは、「ファンクション2ボタン」 を押すか、[電源ボタン] を押します。

*Skypeを使う
本製品を使用して、パソコンにインストールしたSkypeで通話をします。

*Skypeのバージョンによっては使用できない場合があります。

右上につづく

Skypeを使う

本製品を使用して、パソコンにインストールしたSkypeで通話をします。

*本製品を接続する前に、あらかじめSkypeをインストールし、ユーザー登録を完了させてください。

*スマートフォン用Skypeでの通話には対応していません。

*Skypeのバージョンによっては使用できない場合があります。

①前項の「パソコンと接続する」を参照し、本製品とパソコンを接続します。

②Skypeを起動し、メニューバーの「ツール」→「設定」をクリックします。

③画面左下の「オーディオ設定」メニューをクリックします。

④「マイク」と「スピーカー」の項目で「Bluetooth(Bluetooth Audio)」を選択し、「保存」をクリックします。

※前項の「パソコンと接続する」を参照し、本製品とパソコンを接続します。

②Skypeを起動し、メニューバーの「ツール」→「設定」をクリックします。

③画面左下の「オーディオ設定」メニューをクリックします。

④「マイク」と「スピーカー」の項目で「Bluetooth(Bluetooth Audio)」を選択し、「保存」をクリックします。

※Skypeの応答は、「発信ボタン」を押します。電話を終了するときは「ファンクション2ボタン」を押します。

*「ダイヤルボタン」を押して電話相手を選択することはできません。

*Skype側のオーディオ設定で本製品を指定しても音が鳴らない場合は、「ツール」→「設定」→「詳細設定」→「他のプログラムからのSkypeへのアクセスを管理」にて、Skypeとの連携を許可してください。

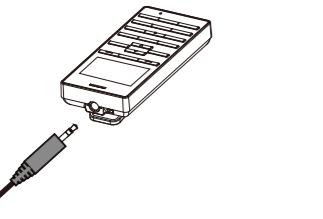
裏面へ

■音楽を聴く

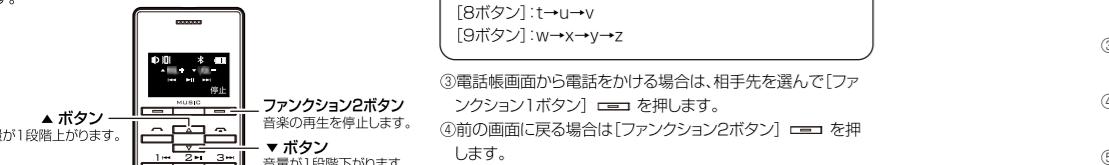
SCMS-T方式※ 対応の携帯電話やスマートフォン、ワンセグテレビなどの音楽や音声を聴けます。
※Bluetooth無線技術におけるコンテンツ保護方式のひとつ。

操作を行う前に、以下の内容をご確認ください。

- 相手側Bluetooth機器の電源が入っている。
- 相手側Bluetooth機器とのペアリングが正常に行われている。
- 相手側Bluetooth機器のプロファイルがA2DPとAVRCPに対応している。
- 本製品の3.5mmオーディオジャックに、イヤホンやヘッドホンを接続している。



①相手側Bluetooth機器で音楽を再生すると、音楽再生画面が表示され、本製品のボタン操作で以下の機能が実行できます。

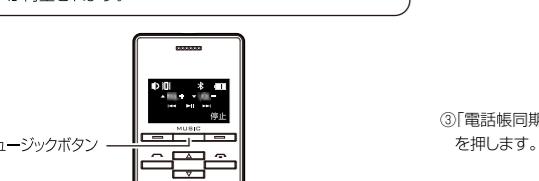


②音楽の再生を停止するときは、[ファンクション2ボタン] を押します。

※ワンセグを視聴している場合は、[1ボタン]と[3ボタン]は選局ボタンとなります。
[1ボタン]: 1つ下のチャンネルに切り替えます。
[3ボタン]: 1つ上のチャンネルに切り替えます。

③音楽の再生を停止するときは、[ファンクション2ボタン] を押します。

※[2ボタン]を押して再生を一時停止すると、6秒後に音楽再生画面が閉じます。
※[ミュージックボタン]を押すと、一部の携帯電話、パソコンを除き、ペアリングしている機器で前回再生した音楽が再生されます。

**■電話帳を表示する**

携帯電話から読み込んだ電話帳を表示し、電話帳画面から電話をかけます。
①[ファンクション1ボタン] を押して、メニュー画面を表示します。
②[上下ボタン] を押して、「1電話帳」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。



※携帯電話の電話帳に新たな情報が追加された後に「電話帳同期」を実行すると、前回読み込んだ電話帳に追加分の情報が追加されます。

③電話帳画面から電話をかける場合は、相手先を選んで[ファンクション1ボタン] を押します。

④前の画面に戻る場合は[ファンクション2ボタン] を押します。

■電話帳を読み込む
接続(ペアリング)した携帯電話から電話帳を読み込みます。

※お使いの携帯電話によっては、電話帳を読み込めない(同期できない)場合があります。
※同一番号が電話帳内に存在する場合は、電話帳の同期が全件数の半分程度しか登録できなくなります。

※文字数が長い場合や特殊な文字体の場合は、登録できない場合があります。

①[ファンクション1ボタン] を押して、メニュー画面を表示します。
②[上下ボタン] を押して、「2電話帳の同期」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

③「電話帳同期」と表示されるので、[ファンクション1ボタン] を押します。

右上につづく ↑

④電話帳の読み込みが完了すると「同期完了」と表示されます。
電話帳を表示する場合は、[ファンクション1ボタン] を押してください。
⑤前の画面に戻る場合は、[ファンクション2ボタン] を押します。

■すべての履歴を削除する
①履歴の一覧から「5履歴削除」を選択して[ファンクション1ボタン] を押します。
②「削除」と表示されるので[ファンクション1ボタン] を押します。

③「削除完了」と表示されたら履歴の削除は完了です。[ファンクション1ボタン] を押してください。

■電話帳を削除する
携帯電話から読み込んだ電話帳を削除します。
①[ファンクション1ボタン] を押してメニュー画面を表示します。
②[上下ボタン] を押して「4電話帳削除」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

※アルファベットで名前が登録されている場合は、名前をアルファベットで検索することができます。電話帳画面で下記の要領に従い名前の1文字目を入力してください。
[2ボタン]: a→b→c
[3ボタン]: d→e→f
[4ボタン]: g→h→i
[5ボタン]: j→k→l
[6ボタン]: m→n→o
[7ボタン]: p→q→r→s
[8ボタン]: t→u→v
[9ボタン]: w→x→y→z

例: 名前の1文字目が「h」の場合、[4ボタン]を2回押すと表示されます。

③電話帳画面から電話をかける場合は、相手先を選んで[ファンクション1ボタン] を押します。

④前の画面に戻る場合は[ファンクション2ボタン] を押します。

■電話帳を読み込む

接続(ペアリング)した携帯電話から電話帳を読み込みます。

※お使いの携帯電話によっては、電話帳を読み込めない(同期できない)場合があります。

※同一番号が電話帳内に存在する場合は、電話帳の同期が全件数の半分程度しか登録できなくなります。

※文字数が長い場合や特殊な文字体の場合は、登録できない場合があります。

①[ファンクション1ボタン] を押して、メニュー画面を表示します。

②[上下ボタン] を押して、「2電話帳の同期」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

③「電話帳同期」と表示されるので、[ファンクション1ボタン] を押します。

右上につづく ↑

■バックライトを設定する

何も操作しないときに、画面の表示が消えるまでの時間を設定します。
①[ファンクション1ボタン] を押してメニュー画面を表示します。

②[上下ボタン] を押して「7バックライト」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

③[上下ボタン] を押して設定内容を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

④5秒後ロック: キーロック状態になるまでの時間を5秒後に設定します。

⑤10秒後ロック: キーロック状態になるまでの時間を10秒後に設定します。

⑥1分後ロック: キーロック状態になるまでの時間を1分後に設定します。

⑦5分後ロック: キーロック状態になるまでの時間を5分後に設定します。

⑧15秒後OFF: 画面表示が消えるまでの時間を15秒に設定します。

⑨30秒後OFF: 画面表示が消えるまでの時間を30秒に設定します。

⑩前画面に戻る場合は、[ファンクション2ボタン] を押します。

■着信音を設定する

着信時にビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

①[ファンクション1ボタン] を押してメニュー画面を表示します。

②[上下ボタン] を押して「5着信音設定」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

③[上下ボタン] を押して設定内容を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

④削除完了と表示されたら電話帳の削除は完了です。[ファンクション1ボタン] を押してください。

⑤前の画面に戻る場合は、[ファンクション2ボタン] を押します。

■履歴を確認する

通話履歴や発着信履歴を確認し、履歴画面から電話をかけます。

①[ファンクション1ボタン] を押してメニュー画面を表示します。

②[上下ボタン] を押して「3履歴」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

③履歴の一覧が表示されます。[上下ボタン] を押して、確認したい履歴を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

④パイプON: 着信時に本製品を振動させます。(●)
⑤パイプOFF: 着信時に本製品を振動させません。(●)

⑥前の画面に戻る場合は、[ファンクション2ボタン] を押します。

■バイブレーションを設定する

着信時に本製品を振動させるかどうかを設定します。

①[ファンクション1ボタン] を押してメニュー画面を表示します。

②[上下ボタン] を押して「6バイブ設定」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

③[上下ボタン] を押して設定内容を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

④「ロック解除成功」と表示され、キーロックが解除されます。

⑤前の画面に戻る場合は、[ファンクション2ボタン] を押します。

■製品仕様

品番 GH-BHMPA

Bluetooth標準規格 Ver2.1+EDR Class2

Bluetoothプロファイル HSP(Hands-Free Profile), HFP(Hands-Free Profile)

A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)

伝送方式 FHSS(周波数ホッピング方式)

対応技術 SCMS-T

周波数範囲 2.4GHz~2.48GHz

送信距離 最大約10m(使用環境によって異なります)

ディスプレイ 128×64pixel 有機ELディスプレイ

音声出力端子 3.5mmステレオジャック

電源 DC5V(USBポートより給電)

バッテリ 内蔵型リチウムポリマーバッテリー DC3.7V 200mAh

充電時間 約90~120分

連続通話時間 約5~6時間

連続待受時間 約100時間

外形寸法 W73xD32.5xH19.9(mm)

重量 約30g(本体のみ)

動作温度範囲 0~45°C

保管温度範囲 -20~45°C

保管湿度範囲 15~85%

素材 ABS,PC

■キー照明を設定する

①キーが点灯すると画面中央に鍵のマークが表示されます。

②キー背面上にある照明を点灯させるかどうかを設定します。キー照明を点灯すると、暗いところでの操作がしやすくなります。

③「電話帳削除」を選択して[ファンクション1ボタン] を押します。

④削除完了と表示されたら電話帳の削除は完了です。[ファンクション1ボタン] を押してください。

⑤前の画面に戻る場合は、[ファンクション2ボタン] を押します。

■キーロックを解除する

①キーが点灯すると画面中央に鍵のマークが表示されます。

②キーが点灯しない場合は、キー操作は行いません。キー操作を解除する場合は、キー操作を行ってください。

③「5キー照明設定」を選択して[ファンクション1ボタン] を押します。

④[上下ボタン] を押して「15秒後OFF」を選択し、[ファンクション1ボタン] を押します。

⑤「15秒後OFF」を選択して[ファンクション1ボタン] を押します。

⑥前の画面に戻る場合は、[ファンクション2ボタン] を押します。

■6ヶ月間保証書

品名 Bluetoothミニフォン

型番 GH-BHMPA

保証期間 ご購入から6ヶ月間

お客様ご氏名

お客様ご住所

販売店様へ

お客様へお渡しの際には、ご購入年月日、

販売店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、

ご捺印ください。

■故障について

●故障やご使用上の質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただかず、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。●弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」からお問い合わせの場合は、ご購入年月から起算した保証期間内に限ります。●保証期間中に取扱説明書、パッケージ等に記載された使用方法で故障した場合、弊社にて無償修理いたします。●本保証書により、本製品の使用に伴う事務料の逸失、記録媒体内部データの損失、開連装置の故障、損害等に対して弊社が責任を負うものではありません。●保証期間内であっても、次の場合は保証の対象外となります。1.保証書がない場合。2.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。3.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。4.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。5.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。6.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。7.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。8.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。9.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。10.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。11.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。12.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。13.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。14.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。15.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。16.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が事務料の対象外となります。17.本製品に記載された記載内容によっては、本製品の使用が